

令和3年度

学校関係者評価委員会 資料

令和2年度学校(自己)評価表

**愛知産業大学工業高等学校
通信制課程**

1. 愛知産業大学工業高等学校通信制課程（単位制普通科 男女共学）の教育目標

通信制課程単位制に入学してくる生徒は多様な価値観を持っている。その生徒一人ひとりに対応できる教育内容の充実を図り、生徒が個々に持っている課題に応える体制を整え、学ぶ喜びと共に、何事に対しても自信と意欲を持たせる。併せて、生徒指導を通して地域社会から信頼される教育活動をめざす。

2. 通信制課程の構成

（1）通信制課程の構成

本校通信制課程は、学年制の生徒が在籍する技能連携校（専門学校高等課程）と本校独自の単位制で構成されている。

学年制には、普通・電気・機械科を設置している。技能連携を結ぶことによって専門学校における学修を本校の修得単位として認定している。

単位制には、3つのコース（午前コース・午後コース・日曜コース）を設置している。

（2）技能連携校

名古屋工学院専門学校高等課程（普通科・電気科）

東海工業専門学校熱田校高等課程（普通科・機械科）

あいち造形デザイン専門学校高等課程（普通科）

（3）在籍数（令和2年5月1日現在）

	普通科		電気科		機械科		小計		合計
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	
名古屋工学院専門学校	385	47	632	9			1017	56	1073
東海工業専門学校熱田校	152	11			436	8	588	19	607
あいち造形デザイン専門学校	87	163					87	163	250
単位制	192	64					192	64	256
合計	816	285	632	9	436	8	1884	302	2186

※1学年 727名 2学年 715名 3学年 744名 合計 2186名

（但し、単位制は1年次、2年次、3年次を学年として集計）

3. 重点目標の具体的な取り組みと評価及び課題等

(1) 教務（学習指導）

重点目標	主な結果
① 単位修得率の向上	○修得単位数/履修単位数=84.1% (R1年度 78.9%)
② 資格取得の向上	○取得資格等 ・ガス溶接技能講習 2名 ・フォークリフト1t以上 2名 ・フォークリフト1t未満 2名 ・小型車両系 3名 ・日本語検定 中止
③ 教員の資質向上	○学園設置校間公開授業 中止 ○自校内参観授業 2名実施、参観者 6名。
④ 視聴覚教材の導入	○視聴覚教材を製作
⑤ 教務規定の改訂	○定期試験の実施回数、名称変更

【自己評価及び課題等】

- 授業内容、レポート内容とも基礎的な項目に重点を置いて作成した結果、単位取得率は向上している。しかし、同時に生徒の理解度が向上しているかは疑問が残る点である。今後は生徒が理解してもらう工夫を検討していきたい。
- 資格取得を全生徒に周知して奨励したが、新型コロナ拡大防止の関係で参加者、合格者は増加していない。
- 学園設置校間公開授業は新型コロナ拡大防止のため中止となり、自校内授業参観は実施した。やはり学校は授業が中心であるので少しでも生徒が理解しやすい授業にすることが必要である。来年度からは研究授業を再開し、より良い授業になるように努力していきたいと考えている。
- 授業内容をわかりやすくするためには視聴覚教材やパワーポイントを使用することがどの教科にも必要である。また、ICT教育を教員が勉強して授業の効率化を推し進める必要がある。
- 技能連携校スクーリング年間指導計画に予定している視聴覚教材を製作した。来年度はICTの利用を模索しながら導入を考えていきたい。
- 教務内規を生徒にわかりやすいように若干変更をした。今後も文部科学省の規定を守りながら、生徒の勉強意欲を高めるような教務規定に変更していきたい。

(2) 生徒指導（生活指導）

重点目標	主な結果
① 基本的な生活習慣の確立	○生徒の状況・様子を把握するため、登下校時等において生徒に「声掛け」を増やすようにした。 ○「産業社会と人間」、「総合的な探究」の時間を利用して基本的な生活習慣、社会生活のマナーの指導をした。
②校内外の事故発生の防止	○校内外における事故はなかった。
③問題行動の防止	○校内外の巡視を行った。本年度は問題行動なし。 (令和1年問題行動3件7名)
④健康診断の受診	○健康診断受診案内を配付して受診を促した。受診結果と治療勧告書の配布を行ない、治療通院を促した。
⑤スクールカウンセラーとの協力体制の強化	○希望する生徒、保護者に予約制でカウンセリングを行った。

【自己評価及び課題等】

- 生徒との対話を増やし、生徒と教員間の相互理解が進んだ。
- 「産業社会と人間」、「総合的な探究」の時間に時事問題を踏まえた生活指導、学習指導、進路指導を行い、基本的な生活習慣、社会生活におけるマナーの大切さ、コミュニケーション能力の必要性を説諭し理解させることができた。また、健康診断受診等、学校行事実施について説明を行ない周知することができた。
- 健康診断の未受診生徒には各自で受診するように指導を徹底する。
- 校内外の巡視を行ない、事故発生を未然に防ぐことができた。また、問題行動の予防と指導も継続する。
- スクールカウンセラーとの協力体制は円滑に進んだ。来年度も継続する。

(3) 進路指導

重点目標	主な結果
① 適切な進路選択	○8/29(土)進学説明会を実施。参加者 82 名 (R1 年 60 名)
	○7/4(土)就職説明会を実施。参加者 55 名 (R1 年 31 名)
	○7/28(火)公共職業安定所（ハローワーク）主催のジョブ・キャンパス・エクステンションを校内で実施。 参加者 14 名 (R1 年 15 名)
	○公共職業安定所（ハローワーク名古屋中）主催の模擬面接 新型コロナ拡大防止のため中止 (R1 年 8 名)

	<p>○1/29(金)公共職業安定所（ハローワーク名古屋中）主催の就職準備セミナー（会場 本校通信制課程校舎） 参加者4名（R1年5名）</p> <p>○就職（学校紹介）は全員内定。 8名（R1年9名）</p>
②進路決定	<p>○合格者 大学18名（R1年14名） （内 愛知産業大学6名（R1年9名）） 短大1名（R1年2名） 専門学校等34名（R1年25名） （内 ELIC9名（R1年6名）名古屋美容1名（R1年0名） ブライダル0名（R1年2名））</p> <p>○進学率48.2%（R1年41.2%） （R2年）進学者/卒業者=53名/110名=48.2% （R1年）進学者/卒業者=41名/98名=41.8%</p>

【自己評価及び課題等】

- 日頃の生徒や保護者との対話を通じて良好な関係を築き、就職説明会、進学説明会等において情報を提供し、希望の実現へ導く方策を常に考えていく。
- 名古屋中公共職業安定所との提携行事に参加して100%の内定を得ることができた。来年度も提携内容を充実し生徒の参加を促す。
- 進路内容を向上させるため、教員の学習指導、面接指導の経験を増やし、多様な生徒に対応するための指導力の向上に努める。
- 姉妹校への進学については学園発展のため、今後も機会あるごとに学園の魅力を生徒、保護者に伝えて姉妹校進学者を増やすように努力をする。

(4) 校務

重点目標	主な結果
①施設設備の管理	○校内の設備による事故はなかった。
	○事務局とも連携をして、教員が校舎担当区域の美化活動を行ない施設設備の管理ができた。
②危機管理	○情報の共有化をした。

【自己評価及び課題等】

- 校内設備による問題発生防止のため、常時点検の実施と早期修繕に努めた。
- 緊急情報や防災等の知識や設備の情報を共有化し、日常的に危機管理意識を持つことができた。

(5) 総務・渉外

重点目標	主な結果
①入学相談	○随時開催の入学相談と年間11回学校説明会を実施した。 (R1年10回)
	○入学相談者の入学率 60.7% (R1年 58.2%) (R2) 入学者数/入学相談者数=125名/206名=60.7% (R1) 入学者数/入学相談者数=137名/235名=58.3%
②広報活動	○学校案内、募集要項を中学校に配付した。 (全日制渉外担当教員に依頼) ○学校案内、募集要項を、登校可能地区の高等学校 240 校に 郵送した。(R1年 240 校) ○在籍生徒の前籍校への高校訪問を中止 (新型コロナ拡大防止のため) (H30年9月実施 61校訪問)
	○合同相談会に参加し、学校案内、募集要項、コミュを配付 した。 ○合同相談会による入学者数 13 名 (面談数 51 組 87 名) (R1年 入学者数 13 名 (面談数 35 組 66 名))
	○単位制HPの「お知らせ」に学校の情報(入学式、卒業式、 試験時間、台風による登校等)を掲載した。
	○単位制HPのアクセス数を増やすため Yahoo、Google 検索 広告を利用した。 単位制HP検索数 14776 件 (R1年 13869 件)
	○本校と同種他校との学費を調べ、本校の学費が経済的で あることを改めて確認した。

【自己評価及び課題等】

- 学校説明会を毎月1回程度実施しているが、同じ説明会ではなく、その時期に応じて内容に工夫をする。(土曜日午前開催)
- 入学相談では生徒の状況を踏まえ、その生徒に応じた説明にする。
- 高校訪問は新型コロナ拡大防止のため中止、在籍生徒の近況報告ができなかった。来年度は是非実施したい。
- 合同相談会では、他校と比較した本校単位制の特徴を学校案内、募集要項使用して説明した。併せて、コミュを配付して姉妹校進学を説明したところ好評であった。今後は出口指導の紹介をしていきたい。
- 学校HPを活用して本校単位制の魅力を広く発信する。昨年の検索件数と比較して増加している。来年度はHPを改訂して内容を充実する。また、来年度も Yahoo、Google 検索広告を利用する。
- 中学生からの入学者が増加傾向にあるので、中学校への広報を検討していきたい。

今後の展望

現在の通信制は不登校の生徒が多く、昔のやんちゃ生徒はあまりいなくなってきた。単に卒業されるだけの通信制は望まれていない。今後は進路指導をして出口指導に力を入れていくかが問題になると考えます。そのためには単に授業だけではなく、生徒のニーズにあった講座を新設して生徒の満足度を高め進路に生かしていきたい。

(漢字検定講座 英語検定講座 IT パスポート講座 危険物取り扱い試験講座 2種電気工事講座
ネイル講座 メイク講座 など)